

他社サービスとの比較

1. LINEワークス・Slack（業務チャット系）

・特徴

- ・リアルタイムのやり取りやタスク管理には強い
- ・企業のチーム向けに設計されている

・課題

- ・議案書や見積書などを体系的に整理する仕組みがない
- ・「チャットが流れる」と情報が埋もれるため、長期保存や検索に不向き
- ・理事が交代するたびに運用ルールを作り直す必要があり、引き継ぎに弱い

2. Google Drive・Dropbox（クラウドストレージ系）

・特徴

- ・ファイルをオンラインに保存し、複数人で共有できる
- ・無料から始められるため導入は容易

・課題

- ・フォルダ構造に依存するため、年数やカテゴリごとに整理が複雑化しやすい
- ・検索機能はあるが「理事会資料だけ」「修繕関連だけ」といった切り口で探しにくい
- ・個人アカウント依存が多く、理事交代時にアクセス権限が不明瞭になる
- ・掲示板機能や会計表示など、**管理組合専用の機能が存在しない**

3. 管理会社が提供するポータル

・特徴

- ・管理会社と契約中は利用可能
- ・点検記録や工事履歴を会社側が掲載してくれる場合もある

・課題

- ・多くの管理会社は **そもそも住民にポータルを提供していない**
- ・あっても「管理会社主体」で情報公開が制御されやすく、住民が自由に資料を扱えない
- ・管理会社を変更すると使えなくなり、過去資料が組合に残らないこともある
- ・理事や住民が建物管理を理解する機会が限定され、透明性が不足

ネイブリッジの強み

・完全に管理組合専用にカスタマイズされた仕組み

- ・議案書・会計・修繕記録を **カテゴリ別・時系列** で整理・蓄積
- ・理事交代や管理会社変更があっても「組合の資産」として残る
- ・掲示板やFAQも含め、住民が主体的に運営に関われる
- ・シンプルで直感的なUIなので、設備やITに詳しくない理事でも扱える

✨ 結論

- ・LINEワークスやSlackは「チャット」
- ・Google DriveやDropboxは「個人や企業用のファイル置き場」
- ・管理会社ポータルは「管理会社の都合で提供される仕組み」

👉 これらはすべて **管理組合の実情に完全には合わない。**

ネイブリッジは **最初から管理組合のために作られた唯一の仕組み。**

だからこそ、透明性・継続性・住民主体の運営を実現できる。